

コースコード : RH-JB225

税抜価格 : 280,000円

日数 : 4日間

前提条件

- ・ Javaプログラミング言語 (Java SE 5 または 6)、特にアノテーションやオブジェクト指向設計に関する知識
- ・ HTMLおよびXMLドキュメントを読み取る力 ・ Eclipseのような統合開発環境 (IDE) の基本的な経験
- ・ Asynchronous JavaScript + XML (Ajax) およびリレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) の基本的な知識 (必須ではないが推奨)

受講対象者

- ・ エンタープライズ Java 開発に関心のある、Java プログラミングの経験を持つ受講者
- ・ 初めて JBoss に移行しようとしている、経験豊富なエンタープライズ Java 開発者
- ・ Java EE 6 と、JBoss Enterprise Application Platform および Red Hat JBoss Developer Studio の最新バージョンを使用してスキルセットのアップグレードを目指している経験豊富なエンタープライズ Java 開発者
- ・ Red Hat 認定 JBoss 開発者試験 (EX225) の準備のためのコースの受講を検討している方

コース概要

このコースでは、中級レベルのJava開発者を対象としており、Java EE 6フレームワーク、仕様、アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) について紹介します。EclipseベースのJBoss Developer Studioを使用して、Java EE互換アプリケーションを作成、テスト、および保守する方法を最初から最後まで学びます。

目的

- ・ Java EE互換アプリケーションを作成、テスト、および保守する方法を学習する
- ・ JBoss Enterprise Application Platform6、CDI、Arquillian、JBoss Hibernate、RESTEasy、HornetQ、その他の関連するテクノロジーを使用した



エンタープライズアプリケーション開発について学習し、完全な機能を備えたエンタープライズJavaアプリケーションを作成する

- ・ベストプラクティス設計、コーディング、テストテクニックを駆使して、Java Server

アウトライン

1.Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 6

の開発者用管理作業

新しい Red Hat R JBoss R Enterprise Application Platform 6

の管理インターフェースとデプロイモデルの使用

2.Red Hat JBoss Developer Studio の概要

Red Hat JBoss Developer Studio

ツールを活用したサーバーの制御とプロジェクトの管理

3.CDI (Contexts and Dependency Injection)

CDI 対応アプリケーションの構築

4.テスト

JUnit と Arquillian を使用したアプリケーションのテスト

5.セッション Bean

EJB を使用したビジネスロジックの実装

6.Web サービス

JAX-WS サポート用の JBoss Enterprise Application Platform

実装とともに RESTEasy や Simple Object Access Protocol (SOAP)

を使用した Web サービスの構築

7.メッセージング

HornetQ を使用してエンタープライズコンポーネントに非同期メッセージングを

追加し、メッセージ駆動 Bean を開発

8.永続性

JPA および Hibernate によるデータの永続化

9.Web ベースの UI

JSF 2 および RichFaces を使用した高度な Web UI の作成

10.セキュリティ

JBoss Enterprise Application Platform 6

とアプリケーションセキュリティによるアプリケーションの保護

11.パッケージングとデプロイ

各種ミドルウェアサーバー用に JBoss Developer Studio



で構築した、アプリケーションパッケージのデプロイオプションの理解